# ALFALINK茨木1

## ZEBを目指したエコ物流施設

### 建築物概要

- 所在地：茨木市東野々宮町
- 建築主：JDP3ロジスティック2特定目的会社
- 設計者：株式会社竹中工務店大阪一級建築士事務所
  デロイトトーマツPRS株式会社
- 用　途：倉庫（倉庫業を営む倉庫）

- 敷地面積：68,690㎡
- 建築面積：29,855㎡
- 延べ面積：161,487㎡
- 構　　造：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
- 階　　数：地上6階
- CASBEE評価：Sランク/BEE値3.4
- 重点評価：$CO_2$削減5.0/みどり・ヒートアイランド対策3.5/
  建物の断熱性能5.0/エネルギー削減5.0/
  自然エネルギー直接利用4.0

**【立地、周辺環境】**

茨木市の南部に位置する巨大な再開発として、水と緑豊かな田園風景に広がる敷地に、物流施設3棟を中心に公園やホームセンター等から構成される。敷地周囲には淀川や安威川が隣接し浸水想定区域内となるため、水害時の対策が与件となっている。

**【総合的なコンセプト】**

「物流を身近な存在にし、人々の日常の延長にある物流施設」を目指して設計。6階建マルチテナント型物流倉庫となり、倉庫棟と一般開放された共用棟で構成される。

環境的な視点のコンセプトとして、「環境・BCPへ配慮した拠点施設」「健康性・快適性を有する物流施設」「まちづくりと地域への展開」の三つのコンセプトを定め、先進的で開放されたエコ物流施設の先導的モデルとなるサステナブル建築計画を目指した。

## 建物断面構成図

## 環境配慮事項とねらい

### Passive 手法

#### 防災拠点としての物流施設

■最大浸水ラインより上に物流施設3棟をつなぐブリッジや共用施設を設けることで、地域の「交流拠点」だけでなく「防災拠点」としての物流施設を目指した。

#### 緑の街区・緑のネットワーク

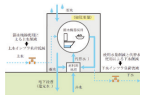
■緑地公園を整備することで自然、鳥や昆虫の生態系を保存し、ワーカーの憩いの空間とする。また、マルチコートなどスポーツが楽しめる場所を整備することで、地域の人々がくつろぎ楽しめるエリアを提供している。

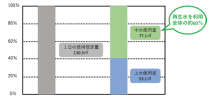
#### 建物の快適性

■共用部は倉庫というスケールで巨大な寸法の中に、人が行む小さい素材感のある空間を挿入することで、物流のダイナミズムを身近に感じると共にどこか心が休まる居心地の良い場所を生み出した。

#### 常時・災害時に井水、雨水の中水利用（BCP）

■ZWB の思想を取り得た上水使用量の削減の取組みとして、雨水利用設備の導入のほか、井水利用設備を併設し、いずれも再生水として利用することで、中水用途の水を全量再生水で賄う計画としている。また地域インフラへの負担軽減に貢献する。敷地内で再生水を利用することで、地域内の CO2 排出量が抑えられるため、脱炭素化にも貢献する。




100%
80%
60%
40%
20%
0%
1.5%
1.5%
1.5